

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">巣子駅</h1> <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;">だより</p>	第 19 号
	平成20年10月号
	たきざわマイレールサークル 巣子駅会
	Tel (019) 694-9622 編集責任者 山口 匡市



## 夜のフラットホームを舞台の生存競争

### 翌朝の『小動物たちの『闘い』の跡

自然の原点をかいま見て感動 !!

…でも、毎日の『お掃除』も大変 デス

巣子駅は、東側にあたる上り線の線路ぎりぎりまで原生林が押し迫っている環境にあつて、ホームの照明にはいろんな虫が集まってきます。

夏場になると、この虫を狙ってセキレイなどの小鳥たちの「狩り」が始まります。



先ずは状況視察    ときには待合室の奥まで    すずめくんも負けじと

夜の『闘い』の現場は見ませんが、翌朝のお掃除は羽根の除去とフンの始末が大変です。



『闘い』の跡、胴体だけ食べ、羽根は対象外らしい    そこ、かしこにフンの「おみやげ」...

時々、この小鳥の方が何ものかに襲われるらしく、鳥の羽根が散乱していることがあります。場所は上り線エレベーター一階入口付近。よく見かける テンの つがい、野生化した猫が待ち伏せして襲うのではないかと考えられます。胴体はもちろんありません。運んで子供たちのエサに……？

クモの狩りは、後始末が一番大変、使った『糸』を除去しても翌朝までにすぐ再生され、あちこち見苦しい光景をかもし出します。最近、ハンドクリーナーを使って先ず本体を捕獲、次に糸を除去する作戦に変え功を奏しています。



自分の何倍もの蛾を襲う女郎蜘蛛    からめとった糸の量の凄さ

西側花壇に新顔  
**アメリカンブルー**

8月半ばの大雨で、喫煙コーナー付近のコスモスが一部倒伏するアクシデントがあり、将棋倒しで全体に「伝染倒伏」しないよう一部カットしました。

その空きスペースに「エボルブルス」(多年草＝通称 アメリカンブルー) をとりあえず補充。

日光が好きで、天気の良い日は見事に咲き揃います。丈夫で、切り戻した枝を挿すとかなり高い確率で発根します。    ※育てて見たい方は駅員(山口)まで

## 世相漫評

あつたらしいな 巣子坊

いいシリーズ 002

こんな介護ロボット あつたらしいな  
対象は、75才以上の寝たきり高齢者  
介護保険適用で格安に手に入る

1. プログラムによる自動操縦
2. 視界は360度
3. 8時間充電で24時間稼働
4. 身長は自在に調節できる
5. コックピットは完全空調

## 冬越し朝顔三代目 発芽



いまや、厳寒時の巣子駅名物となった『朝顔の冬越し開花』ですが、この冬も三代目を育て挑戦、お客様の心の癒しに役立ってくれればと準備しています。

9月10日に発芽、その後鉢上げし建物内で日光浴中。今回のものは、「双葉」と「花」は確かに朝顔なのですが葉の形状が「コスモス」タイプの珍種です。

何という種類なのか、いろいろ調べたのですが未だに判りません。ご存知の方いらっしゃいましたら教えて下さい。

花の色は、このタイトルのような「真っ赤」です。